

塩竈市議会だより

平成21年

2月定例会号

	ページ
● 平成21年度当初予算及び施政方針概要	2
● 予算特別委員長報告	3
● 施政方針に対する質問	4～7
● 民生所管事務調査報告	7
● 請願報告・人事・審議結果	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel022(364)1214 Apr.2009 (平成21年4月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



塩竈神社の塩竈ザクラ

定例会のあらまし

平成二十一年第一回市議会定例会は、二月二十三日から三月十一日までの十七日間の会期で開催されました。

本会議初日には、人事案件二件が上程され、原案のとおり同意されました。また、平成二十年度議案十七件については、質疑を翌日に継続しました。

本会議二日目は、前日に続いて質疑を行った後、十七件を原案のとおり可決しました。続いて平成二十一年度議案二十八件が上程され、併せて市長から示された施政方針に対し、二日間にわたり議員八名が市長の見解をただした後、予算特別委員会に付託しました。

続いて三月二日から五日までの四日間、平成二十一年度予算特別委員会を四日間開催し、付託議案の審査を行いました。また、産業建設常任委員会を開催し、継続審査の請願について審査を行いました。

定例会最終日は、各委員長から審査結果の報告を受け、平成二十一年度議案二十八件を原案のとおり可決しました。また、議員提出議案一件を可決し、請願一件を継続審査としました。

(議案の件名と審議結果は八ページ)

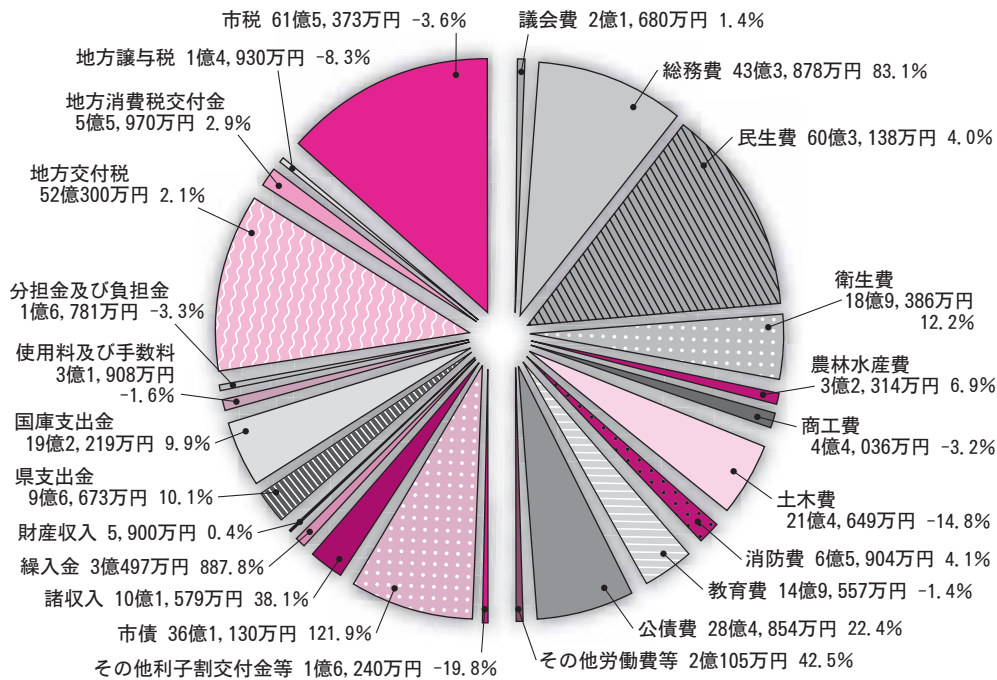
定例会会議日程

(本会議)	
2月23日	会期の決定、諸般の報告、民生常任委員会所管事務調査報告、人事案件採決、20年度議案説明、質疑
2月24日	20年度議案質疑及び採決 21年度議案総括質疑
2月26日	施政方針に対する質問
2月27日	施政方針に対する質問、議案付託
(委員会)	
3月2日 ～5日	平成21年度予算特別委員会
3月6日	産業建設常任委員会
(本会議)	
3月11日	予算特別委員会委員長報告、産業建設常任委員長報告、議案採決、請願採決、議員提出議案採決

一般会計予算（歳入歳出とも 205億5,950万円）

歳入

歳出



（数値は表示単位未満を四捨五入 数値の後の%は対前年度増減率）

**平成二十一年度当初予算（一般・特別・企業会計）
三百三十億八千四百四十万円可決**

平成二十一年度当初予算は、一般会計が二百五億九千五百万円（前年比十四・六％増）、特別会計が百六十六億六千四百四十万円（前年比▲九・三％）、企業会計が五十八億二千二百五十万円（前年比▲四・五％）となっています。（▲はマイナス）

施政方針概要

アメリカの金融危機に端を発した世界同時不況によって、国民の間に大きな社会不安が広がっています。

本市では、国際的な漁業環境の変化に伴い、水揚げ額が百億円を下回り、企業倒産が相次ぎ、この度の経済不況も相まって、市民生活に多大な影響が出ています。

このような混迷の時代を乗り切るために、国の第二次補正予算などの緊急経済対策を活用しながら、切れ目のない景気浮揚と生活支援に取り組みまいります。賑わいと活力にあふれ、市民の皆様が安心して住み続けていただけるまちづくりに全力を尽くしてまいります。

一 地域経済の活性化に取り組みます。

- ・ブランド化のさらなる推進と、官民一体となった漁船誘致活動に努力
- ・塩釜フード見本市などを通して、塩釜の食の魅力を全国に発信
- ・商業振興策として、一割増のプレミアム商品券を発行

二 交流人口の拡大に向けた観光振興や、中心市街地活性化に取り組みます。

項目	金額	前年度比
特別会計予算	166億6,440	▲ 9.3
・交通事業	2億1,700	2.8
・国民健康保険事業	64億9,730	2.3
・魚市場事業	1億3,440	0.0
・下水道事業	48億3,860	▲17.7
・公共駐車場事業	1,320	0.0
・老人保健医療事業	1,880	▲96.7
・漁業集落排水事業	3,100	▲69.9
・公共用地先行取得事業	770	▲97.5
・介護保険事業	39億8,050	6.6
・土地区画整理事業	3億8,750	▲19.4
・後期高齢者医療事業	5億3,840	▲ 6.2
企業会計予算	58億2,205	▲ 4.5
・病院事業	30億3,547	5.5
・水道事業	27億8,658	▲13.5

五 安全と安心のまちづくりに取り組みます。

- ・塩竈学の推進と歴史を生かしたイベントを展開
- ・小中学校や住宅などの耐震化、津波高潮対策を推進
- ・自主防災組織づくりを促進

また、長期総合計画が、平成二十二年度に最終年度を迎えるので、多くの市民に参加していただき、新計画の策定に取り組みます。

三 少子高齢化に取り組みます。

- ・妊婦健診、乳幼児医療費の助成を拡大
- ・高齢化が進む浦戸地域で「いきいきデイサービス」を開始

四 まちづくりの基本であるひとづくりに取り組みます。

- ・市単独で指導教員を配置して少人数指導を充実



予算特別委員会 委員長報告

平成二十一年度予算特別委員会では、木村吉雄委員長、阿部かほる副委員長を選出した後、四日間にわたり慎重に審査を行い、新年度予算など二十八議案を可決しました。

「要望意見」

● 一般会計

▼世界同時不況による急激な景気の悪化により、本市の財政状況は一層厳しさを増している。市民生活を守るために、国の緊急経済対策等を活用しながら、地域経済の活性化、市民生活支援に全力で取り組まれない。また、今後見込まれる多額の財源不足に対応するため、経費のさらなる圧縮に加え、自主財源確保の



予算特別委員会 委員長報告

ため市税等の収納率の維持・向上に全力で取り組まれない。

▼工事請負契約の締結については、契約締結後の増額工事に伴う変更契約の件数が多く、中には変更額が大きいものも散見される。工事請負契約の締結にあたっては、各事業の積算担当と契約担当との間で密接に連携し、より適正な契約事務の執行に努めることにより、工事請負業者の育成指導にあたられない。

▼次世代育成青年交流事業については、浦戸地区を会場として、市内外の多くの若い世代の交流を推進するものである。本市では晩婚化傾向にあり、未婚者が増加傾向にあるが、親の世代が安心して子供を産み育てることができると子育て支援事業や、男女が互いに協力し合いながら仕事と家庭の両立を実現することを目指す男女共同参画推進事業を総合的に展開することにより、人口対策の見地からも、若い世代の人口流入の促進や少子化対策等に鋭意取り組まれない。

▼観光活性化への取り組みについては、平成二十一年度に完成する北浜沢乙線の景観整備をはじめ、海辺の賑わい地区のほか、本市の食や港湾、浦戸の自然など、本市のまちづくり資産を総

合的かつ最大限に活用し、より多くの観光客を取り込むことにより、一層の交流人口の拡大に向けて取り組まれない。

▼昨年開催された塩竈フォトフェスティバルについては、国内の第一線で活躍する写真家が、写真講習会をはじめ、市内各会場で多彩なイベントを開催し、全国から多くの参加者を集めた。来年度以後の開催については検討中であるが、このイベントに対する注目度は大変高く、本市の文化振興と、交流人口の増加を図る観点からも、フォトフェスティバルの継続した開催について検討されたい。

▼我が国においては、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の四疾病が死亡原因の上位を占める中、これら生活習慣病をはじめとした疾病の早期発見、早期治療が求められている。本市においては、健康への関心を高めるため、今後も様々な機会を通して、市民への説明会などによる啓発活動を行い、がん検診や特定健診・保健指導の受診率を高め、さらなる市民の健康保持と増進に努められたい。

震強化が喫緊の課題となっており。そのような中、今後も引き続き年次計画により耐震補強工事を行うとともに、校舎の雨漏りやトイレなど修繕が必要とされる箇所が散見されることから、適時適切なメンテナンスを行い、快適で安全な学習環境の整備に努められたい。

● 特別会計

▼国民健康保険事業特別会計については、その安定運営を図るため今年度から税率を改定したところであるが、その内容について被保険者への周知をさらに徹底されたい。また、景気の悪化に伴い、今後国保運営はさらに厳しさを増すと見込まれることから、丁寧な納税指導に努められるとともに、税負担の公平性を守るため、収納対策に万全を期されたい。さらに、保険給付費の増加を抑制するため、後発薬品の活用についても周知を図られたい。

▼魚市場事業特別会計については、燃油高騰や資源減少の影響を受け、魚市場の水揚げ数量・金額とも大きく減少したところである。その後も国際的な漁獲規制のもと、はえ縄漁の減船などの方針が出されており、水産業をとりまく環境は一層厳しさを増している。今後はこのような情勢を直視し、産地間競争に立ち向うべく、官民一体となり漁船誘致活動や販売推進への取り組みを強化し、塩竈の水産の再生に努められたい。

● 企業会計

▼市立病院事業会計については、市立病院が地域医療を担う市民のための病院として今後も存続していくには、改革プランを確実に実施し、単年度収支の均衡を達成することが不可欠である。そのためにも、病院再生に向けて職員の意識統一を図るとともに、市全体で病院の再建に取り組まれない。

(民生常任委員会所管事務調査報告は七ページ、産業建設常任委員会委員長報告は八ページに掲載)

施政方針に対する質問

施政方針に対する質問

本会議での各議員の施政方針に対する質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



改革ネット塩釜
伊藤 博章

二十一年度の重要政策課題の把握と解決策は

議員 施政方針では「人口減少や高齢化、地域経済の低迷、さらに地方分権の発展など課題は山積」「国の緊急雇用創出事業を最大限に活用」とあり、本市の状況を的確に把握しているようだが、平成二十一年度における重要な政策課題をどのように捉え、どのように解決しようとしているのか。また、市の重要課題に対する施策として国の補正予算を使うのであれば、もっと幅広い市民が対象になるように、既存の施策にも活用できないか。
市長 現在の長期総合計画の最終年度となる平成二十二年年度に向け、活力のあるまちづくりを進めていきたい。平成二十一年度は、①地域経済の活性化②交流人口の拡大に向けた観光振興、



塩竈市温水プール（ユープル）

スポーツプラン見直しは市民ニーズ踏まえて

議員 スポーツ振興のビジョンを見直すところがあるが、現在の雇用環境の悪化などを勘案すると、これから退職を迎える団塊の世代の方々が、退職後のライフスタイルを考えようにも厳しい状況がある。新たな生きがいとして夫婦いっしょに楽しめるスポーツに出会い、また地域の友人にも出会えるようなスポーツ施設が整備されていない。計画見直しに当たっては市民の多様なニ

ズに対応できるような計画にすべきと考えるが市の考えは。
市長 市民の多様なスポーツニーズに配慮されるように、これまでに体育館、温水プール、清水沢公園グラウンドなど市の施設をはじめ二又スポーツ施設など県の施設も含めてスポーツ施設の確保・整備に取り組んできた。さらに民間施設や小中学校の体育館・校庭解放などにより、年間約四十二万人にご利用いただいているが、なお整備すべき部分も残されているので、近隣市町の施設の相互乗り入れなど広域的な利活用も考えたい。



公明党
小野 幸男

雨水対策の取り組みとまちづくりは

議員 梅の宮一号雨水幹線整備にかかると、地域の雨水排水計画を含む水路整備の取り組み状況は。また、宮町吉津線と市道塩竈神社参道線との交差部は狭く閉塞的に交差しており、大型車両の通行が困難な状況であるが、雨水幹線の整備とあわせて道路整備の考えは。さらに、北浜沢乙線整備にかかると、宮町庁舎向かいの歩道整備と、市事業の歩道景観事業の進捗は。



宮町水路

市長 梅の宮一号雨水幹線整備は平成二十一年度からの二カ年で実施する計画である。現段階ではボックスカルバートの整備手法をとる計画であるが、景観に配慮したまちづくりも必要との意見を数多く寄せられており、十分調整したい。また、排水路整備にあわせ交差点部の改良工事等も検討したい。北浜沢乙線の県道整備に関連し、歩道整備は引き続き平成二十一年度にも実施し、景観整備も並行して取り組む。残された側道整備についても一緒に平成二十一年度中にすべての工事を完了させる。

少子化対策は

議員 少子化対策の一環として妊婦健診の助成を三回から十四回に拡大するとしているが、助成の概要と利用できる機関、健

診項目は。国の補助財源措置は二年間であるが、その後の継続は。また、乳幼児の外来医療費に対する助成の内容は。

市長 妊婦健診の拡大については、県内のあらゆる医療機関で受診できるよう県と県医師会が健診項目と費用について協議を行い、産婦人科ガイドラインが必要としている項目をすべて満たす内容で行うこととしている。国の補助財源措置は二十二年までであるが、引き続き財源措置されるよう他自治体とともに要望する。乳幼児医療費助成制度については、県内統一した助成制度の拡充を県に対し要望してきた経緯がある。近年の急激な少子化の進行を受け、本市の独自の施策として本年四月から外来の助成対象年齢を三歳児から小学校就学前に拡大するため、関係条例の一部改正の議案を今定例会で提案している。



日本共産党塩釜市議団
曾我 ミコ

公立保育所の充実を

議員 ①保育所の待機児童は、毎年、年度末にかけて約七名から八名程出ている。待機児童解消のためには未満児の定数枠を増やすことが必要ではないか。



藤倉保育所

③平成二十一年度に策定するの
びの塩竈っ子プランの後期計
画を基本とし、今後のあり方を
踏まえ対応していきたい。

集会所の耐震化を

議員 宮城県沖地震に備えて、
多くの人が集まる集会所施設の
耐震化改修が必要と考える。市
内の集会所の中には昭和五十六
年以前に建てられた施設も数多
くあるのではないかと考える。
耐震化改修のための経費につい
ても補助の対象とし、補強工事
については、災害対策の観点か
ら補助率を大幅に引き上げるな
ど、集会所全体の耐震化を図れ
るよう検討を求めるが、市長の
見解を伺いたい。

市長 昭和五十六年六月以前に
起工された集会所が二十五カ所
あり、その内市所有は二十一
カ所、町内会所有は四カ所であ
る。集会所は、地域の様々な活
動の拠点として町内会や地域住
民の皆様方に利用いただしてい
る。今後とも安心して利用して
もらうためにも、いざ耐震補
強工事の促進は重要な課題とし
て受けとめながら、まずは学校
建築等について耐震補強工事を
最大限に努力していきたい。



日本共産党塩竈市議団
吉川 弘

国保税額県内一では

議員 平成二十一年度からの国
保税の値上げは、四十歳以上六
十四歳までの二人世帯で所得金
額が一人二百二十七万円、資産
ゼロの場合約五万三千円上がっ
て四十一万七千二百円になる。多
賀城市より十三万八千三百円も
高い。さらに七割軽減となる生
活保護水準でも一万五千五百二十
円上がって四万三千六百八十円
になる。また、国は毎年のよう
に限度基準額を引き上げ医療分
と介護分を合わせて六十八万円
にもなっている。この結果、本
市の国保税はいずれの所得階層
にも負担が重く県内一高い保険

税になったが、見解は。

市長 平成十九年度の一人当た
りの医療費は県内で最も高い水
準であり、各自治体で医療給付
費の状況等によって国保税の内
容は異なっているが、税負担も
本市は県内上位になっている。
医療給付費など被保険者の負担
で賄う部分に、一般会計で他の
健康保険加入者の税を投入する
ことは公平性に欠けるものと考
えているため、理解願いたい。

資格証の家庭が受診 する際の対応は

議員 資格証の交付を受けてい
る家庭では中学生以下の子供に
は六ヶ月の短期保険証に法改正
された。さらに子供だけでなく、
資格証であっても病院にかかる
のに医療費が払えない親の場合
などには、市の窓口でそのこと
を話し、市が「特別の事情」と
認めた場合は短期保険証の発行
ができるかと政府が認めた。本市
の対応を伺いたい。



市長答弁

市長 資格証は長期にわたり保
険税を滞納している方について
納税相談の機会を確保するため
に交付しており、医療機関を受
診する際には緊急な場合に限り
納税相談を行った上で短期被保
険者証を交付している。また、
資格証の交付を受けている世帯
の十五歳以下の子供に、有効期



日本共産党塩竈市議団
伊勢 由典

雇用問題への対応は

議員 派遣切りが社会問題と
なっている。国は緊急雇用創出
事業交付金を第二次補正予算化
したが、派遣労働解雇者が今年
三月末で約四十万人になると報
じられた。市では昨年末、「市の
緊急雇用対策本部」が設置され
た。市の雇用対策強化支援が求
められる。日本共産党塩竈市議
団は一月に市に雇用対策として
①市臨時雇用期間延長②生活保
護と住宅確保対策を申し入れた。
市の対応を伺いたい。

市長 昨年十二月に緊急雇用対
策本部を設置し、相談窓口を開
設した。市内の企業・高校の状
況を職員が調査し、それにより
ワークシェアリングの雇用枠の
拡大や期間臨時職員の募集を
行った。今後、国の二次補正予
算に計上された制度で対策の強

施政方針に対する質問





塩竈市魚市場

化に取り組んでいきたい。生活保護と住宅確保ではハローワークで清水沢の雇用促進住宅を紹介している。生活資金等は昨年未よりハローワークと東北労働金庫が連携し、融資制度を開始した。今後は各種制度の周知活用に向けていきたい。

水産業に対する市の考えは

議員 魚市場の水揚げは燃油高騰やマグロの減少で百億円を切った。今年にはマグロの国際的漁獲規制減船で厳しい年と予想される。水産関係者は「今後、ビンナガマグロ・カツオの水揚げと三月以降減船後の漁船誘致、買受価格、資材価格一本化、水揚げ後の凍結施設整備、二つの卸売機関一本化が課題」という。水産加工業も景気の急速な後退

施政方針に対する質問

で、消費も落ち込みが厳しい。水産業に対する市長の見解は。

市長 水産業は一層厳しくなると認識している。市独自の燃油高騰対策緊急支援事業が生産者に大変評価された。生産者の立場での対応も必要である。マグロの国際的漁獲規制で今後は産地間競争の激化が予想され、官民一体の漁船誘致活動に取り組みたい。凍結施設は、全水加工連の冷蔵庫が整備されている。水産加工業では輸入原魚の関税率引き下げの要望などを行いたい。



二ニュー市民クラブ 菊地 進

魚市場卸売機関の一元化と漁船誘致は

議員 水産業の振興策はなぜ結果が出されないのか。卸売機関の一元化についてはどのような努力をしてきたのか。何年も解決できないから水産業が低迷しているのではないか。市長の決意を伺いたい。また、昨年燃油高騰のため本市魚市場に水揚げする外来船に対し助成金を出すよう議決した。同制度を活用し漁船誘致を行っていただくと残念



塩竈市魚市場岸壁

に思う。なぜ実施しなかったのか、いつ実施するのか伺いたい。

市長 卸売機関の一元化については、両機関とも一元化する方向でいるが、具体的にどのような組織にするのかというところで、協議が中断している。現在の魚市場の水揚げを考えると一元化は急務なので、今後も両機関との意見交換を行いながら進捗に向け取り組んでいく。漁船誘致については、国際的なメバチマグロの漁獲規制を受け、近海マグロ延縄船の減船の動きがある。この状況が三月に固まるので、推移を見ながら具体的な誘致先を定め漁船誘致を実施する。

子供の学力アップと数値目標は

議員 未来を担う子供の学力アップに税を投入することは理解でき

るが、中途半端な金額、教育では大きな期待ができない。本当に子供たちに未来を託するのであれば全学年、全児童生徒を対象に事業を実施すべきではないか。「選択と集中」と市長が説明しているが、子供の学力向上のための予算なら集中して事業展開することが市民の理解を得やすいのではないか。

教育長 学力アップの具体策については、「塩竈市学力向上プラン」に基づき、分かる授業の構築、家庭学習の習慣化を目標に掲げさらに充実を図っていく。具体的な学力の数値目標については、全国学力・学習状況調査の結果、全国、宮城県の平均正答率より低い結果となったことから、本市としては、県の平均値を上回ることを目標に取り組みたい。教育委員会としては、各種研修会を充実させ学校との連携と校長のリーダーシップが十分発揮できるよう全力で支援してまいりたい。



二ニュー市民クラブ 鎌田 礼二

市立病院の方向性は

議員 市立病院は本市にとって必要な病院と考えるが、一方で必要性も問われている。改革プ

ランでは、一般会計から病院へ七年間、毎年六〜七億の繰り入れが盛り込まれており、市税の増収が望めない本市にとってかなりの負担になるのでは。改革プランの方向性はこれで良いのか。また、地域医療を担う病院の役割について市長の見解は。

市長 旧塩釜二次医療圏内の六病院が相互連携強化を図り、地域の良好な医療環境の構築に努めたい。市立病院としては、特に救急受け入れ強化、在宅医療、療養病床の維持等に取り組むたい。地域医療を担う病院の役割には、救急患者受け入れの積極的な対応、災害や感染症への対応とあわせ、一次・二次・三次医療が相互に連携を図り、地域医療に対するニーズにこたえることにある。繰り出し金については、一般会計が本来負担すべき市民の健康増進のための政策的な補助として、あるいは債務の返還分として計上している。

学校教育は

議員 施政方針では、各小中学校に指導教員を配置し少人数指導を充実するとしているが、具体的内容は、また、しおがまサマースクールの評価と、今後の取り組みは。教師による一連の不祥事を受け、教職員の研修の充実と資質・指導力向上の方策は。



サマースクール

教育長 少人数指導については浦戸二小を除く市内六つの小学校に一名ずつ指導教員を配置し、習熟度別学習を行う。今回は六学年の中で一番学習内容が多く定着しにくい五年生の算数で少人数指導を実施する。昨夏に初めて実施したサマースクールには一千名を超える参加があり、丁寧な理解できるまで取り組むことができた等の評価が生徒からあった。来年度は県の補助も受けながら支援員を増員し、家庭学習に対する保護者の相談にも応じたい。教員の資質、指導力向上については、教育関係者以外の外部講師による研修会を開催するほか、教員相互の意見交換の場を設けるなどして倫理、人間性の向上を図りたい。

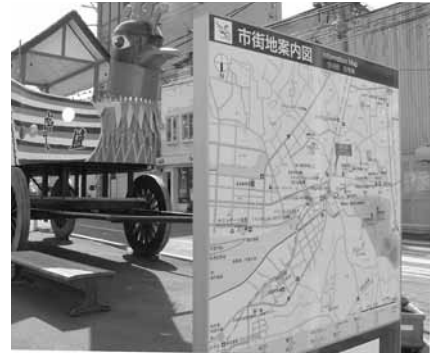


二ユー市民クラブ
木村吉雄

交流人口の拡大に向けた観光振興は

議員 戦前戦後、古来より千賀の浦は観光のメッカであった。現在では、観光も産業として姿を変えつつあり、これからは、産業の枠も飛び越え、一次、二次、三次産業を掛け合わせた第六次産業的な取り組みが必要だと思ふ。我が市においては、地域資源、文化歴史に加え、松島を背後にした立地条件がある。これらを有機的、広域的に結びつけることが複合的な観光として産業振興になると考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 観光庁も発足し、国策としても観光事業に取り組み中、その産業的な重要性は高まっている。交流人口を拡大し地域を活性化していくためには、観光の振興は欠かせない重要な施策であると認識している。今後は、塩竈にお越しいただけなければ体感できない味や、企画内容をより磨きをかけながら、塩竈ならではの旅行商品を地道ながらも、市民の皆様と一緒に頑張って磨き上げていくことが観光振興による確実な産業振興の成果に繋がると考えている。



市街地案内図

宮町地区の水路工事と道路拡幅は

議員 ①宮町水路は、市街地に残る数少ない水辺空間である。この景観は、将来の街並みにぜひ残したいと考えている。宮町地区の整備のイメージを伺いたい。②越の浦春日線から宮町地内までの千六百六十メートルが整備済み区間であり、北浜沢乙線までの残り区間三百十メートルは未整備区間となっている。宮町水路改修工事に合わせ同路線の拡幅整備を行ってどうか。

市長 ①現段階での基本計画は、ボックスカルバートの整備となっているが、景観に配慮したまちづくりを求める声が多数寄せられている。今後も地域の方々のご意見をいただきながら、より塩竈のまちにふさわしい施工方法を検討したい。②同路線には塩竈の歴史を代表するような建造物等も数多く残されている。このような歴史的な建造物と都市計画道路の整備をいかに調和させるかが課題である。今後は、このことについても、あわせて地域のご意見を拝聴しながら、意見交換をさせていただきたい。

民生常任委員会 所管事務調査報告



民生常任委員会

委員長 浅野敏江

◎民生常任委員会の所管事務のうち市立病院事業について、平成二十年十二月十八日、平成二十一年一月二十二日及び二月十三日の三回にわたり委員会を開催し、病院改革プラン案について慎重に調査しました。その中で出された主な要望・意見は次のとおりです。

▼経営再建にあたっては、職員意識改革が不可欠である。院内で情報を共有し、病院の院是と基本理念を再認識して、職員全員が危機意識を持ち、一丸となって再建に取り組まれない。

▼院長はじめ幹部職員は、職員に対して十分な指導力を発揮し、患者との信頼関係の確立と、働きやすい職場づくりに努められたい。また、医療の質の向上を図り、患者の立場に立った医療を行われたい。

▼不良債務を解消するには、相当額の市税投入が避けられないところであり、そのためにも地域内における市立病院の必要性を明確にし、市民の理解を得る努力をされたい。

▼地域医療を守るため、旧塩釜医療圏内の病院、診療所との役割分担と連携を推進されたい。

▼病院再建は、市立病院だけでなく市全体の問題であるので、一般会計負担だけでなく、国・県や地域医療団体との調整、他の政策との関連づけなどについて市全体として積極的に取り組まれない。

▼病院再建のため残された時間は少なく、早期に病院改革プランの結果を出さなければならぬので、病院改革プランが確実に実現されるよう進行管理を徹底されたい。

以上が主な要望・意見です。この病院改革プランは、市立病院の経営を将来にわたって持続可能なものとする最後のチャンスであり、市立病院の再生を図るには、病院改革プランに定めた改革内容を確実に実現していくことが必要ですので、市立病院が市民の健康を守っていくために、市として最大限の努力を傾注されるよう要望します。

施政方針に対する質問

2月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	塩竈市立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	塩竈市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例	原案可決
議案第3号	平成20年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第4号	平成20年度塩竈市交通事業特別会計補正予算	原案可決
議案第5号	平成20年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第6号	平成20年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第7号	平成20年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第8号	平成20年度塩竈市公共駐車場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第9号	平成20年度塩竈市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第10号	平成20年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第11号	平成20年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第12号	平成20年度塩竈市土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第13号	平成20年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第14号	平成20年度塩竈市立病院事業会計補正予算	原案可決
議案第15号	平成20年度塩竈市水道事業会計補正予算	原案可決
議案第16号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	塩竈市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	塩竈市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	塩竈市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	塩竈市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	塩竈市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	塩竈市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	塩竈市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	塩竈市交通安全指導員条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	塩竈市非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第28号	塩竈市市税条例及び災害による被害者に対する市税の軽減又は免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	平成21年度塩竈市一般会計予算	原案可決
議案第30号	平成21年度塩竈市交通事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成21年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成21年度塩竈市魚市場事業特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成21年度塩竈市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成21年度塩竈市公共駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成21年度塩竈市老人保健医療事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成21年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成21年度塩竈市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	平成21年度塩竈市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	平成21年度塩竈市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第40号	平成21年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第41号	平成21年度塩竈市立病院事業会計予算	原案可決
議案第42号	平成21年度塩竈市水道事業会計予算	原案可決
議案第43号	塩竈市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第44号	塩竈市魚市場地区再開発事業に係る企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第45号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	原案可決
議案第46号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	同意
議員提出議案第1号	市長の専決処分事項を指定することについて	原案可決

産業建設常任委員会
委員長 香取 嗣雄

◎請願第八号「防災・生活関連整備の地域間格差を無くし、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める請願」については、今後の国の動向を見きわめながら、時間をかけて慎重に審査すべきとの意見が大勢を占め、閉会中の継続審査とすべきものと決しました。



産業建設

産業建設常任委員会
委員長報告

請願

人事

○(推 薦)
○人権擁護委員
千 葉 三千男氏

○(選 任)
○固定資産評価審査委員会の委員
藤 勇 一氏

今定例会において、次の方々を選任または推薦することに同意しました。

次回の定例会は

6月8日(月)

開会予定です



編集後記

平成二十一年二月定例会号をお届けします。

新年度を迎え、新たな生活をスタートさせた方も多いでしょうが、昨年からの急速な景気悪化は、まだ底が見えない状況であり、国のさらなる景気対策が望まれるところでです。

今後皆様にも親しまれる「議会だより」づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

議会報編集委員会
委員長 菊地 進

※議案第19・29・31・33・38・39・40号について討論が行われました。